＊＊第56回ボランティア研修会　体験スクール＊＊

−もっと知りたい！やってみたい！　ブックリスト50冊−

今回の体験内容に関係する、高知県立図書館所蔵本の一例です。
他にも様々な本がありますので、お気軽にお問い合わせください。

＜目次＞
★車椅子介助
★視覚障害者ガイド＆盲導犬
★点字で簡単な文章を作ろう
★手話のキホン
★要約筆記に挑戦！
★幸せに続く 看護への道
★今ドキ！！の介護
★セラピードッグ
★おもちゃ図書館
★未来の環境を考える

じゃあ、読もう。
2010 国民読書年

平成22年8月作成 【高知県立図書館所蔵】

＊車椅子介助＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
1	これであなたも車いす介助のプロに！　シーティングの基本を理解して自立につなげる介助をつくる	木之瀬　隆／編著	中央法規出版	2008	369.27	多くの介護現場で利用されている車いす。シーティングの基本や事故防止の方策などの知識があれば、車いすは利用者の生活を豊かにする福祉機器となる。本書では、車いすの介助に必要な基本的知識を伝授する。
2	チェアウォーカーという生き方　私は車椅子で歩く。昨日も、今日も、明日も	松上京子／著	小学館	2009	S/916	健常者と車椅子生活者、妻と母、両方の視点から見えた「本当のバリアフリー社会の姿」。20代半ばにチェアウォーカーとしての旅をはじめた著者が、鮮やかに描き切った入魂のエッセイ。
3	健太がゆく！　ぼくは車イスの中学生	小松　健太／著	旺文社	2007	K/916/コマ	ぼくの名前は小松健太。高知で生まれ育った中学生。ただ多くの中学生たちと少し違うのは、いつも電動車イスに乗っているということ。数々のテレビ番組で紹介された、少年と大家族の感動物語。
4	車いすレクリエーション	斎藤　道雄／著	大月書店	2003	369.26	（「はじめに」より） ルールのあるものは難しいと判断して、あまりルールにこだわらず、参加者が少しでもからだを動かすような内容の試行錯誤をしてきました。其の中で、現在行っているゲームや体操を紹介します。
5	車イス介助のしかたとレクリエーション＆ダンス　介護福祉　医療	前橋　明／編著　渡辺　則子／著	ひかりのくに	2005	369.26	介護・福祉・医療関係者のみでなく、すべての人が知っておくべき車イスの実践的な知識をやさしくイラスト解説。車イスの人をはじめ、大人も子どもも楽しめるレクリエーションやダンスも紹介。

＊視覚障害者ガイド＆盲導犬＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
6	目の不自由な方を誘導するガイドヘルプの基本　初心者からベテランまで　第2版	村上琢磨／共著　関田巖／共著	文光堂	2009	369.27	視覚障がい者の誘導法をわかりやすく解説した研修用テキスト。主要10場面でのガイドヘルプの手順を、多数のイラストを用いて根拠を示しながら解説。障害者自立支援法全面施行に合わせて内容を改訂した新版。
7	見えない・見えにくい人も「読める」図書館	公共図書館で働く視覚障害職員の会／編著	読書工房	2009	015.1	図書館は、「読書することに困難のある人」の強い味方。視覚障害者が使える・働ける図書館を目指して活動してきた「なごや会」20年の歩みと、見えない・見えにくい人のための各種サービスの概要や歴史を紹介する。

8	白杖歩行サポートハンドブック　地域で暮らす視覚障害者のために	新潟県中途視覚障害者のリハビリテーションを推進する会／編　山田幸男／著　大石正夫／著　霜鳥弘道／著	読書工房	2010	369.27	視覚障害者の単独歩行をサポートする家族や友人・知人など、アシスタントのためのテキスト。移動方法や白杖歩行の実際の方法を解説する他、視覚障害者に多い転倒・骨折を防ぐための基礎体力作りについても紹介。
9	Q＆A盲導犬　ともに暮らし、ともに歩き、広がる社会	松井　進／著	東京　明石書店	2007	369.27	盲導犬は素晴らしい。盲導犬とともに歩み、心からそう実感する著者が、盲導犬と暮らすことをテーマに、様々なエピソードを通して盲導犬との実生活、社会参加の様子、視覚障害者の置かれた状況について紹介する。
10	パピーウォーカー　盲導犬のたまごとくらす幸せ	石黒　謙吾／文・写真	全日出版	2003	369.27	パピーウォーカーとは、盲導犬になるため生まれた仔犬の育ての親。盲導犬になろうとしている犬、盲導犬に関わる人たちの日常を温かく描いた、「盲導犬クイールの一生」の著者が贈る新たな感動のストーリー。

＊点字で簡単な文章を作ろう＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
11	バリアフリーの本 「障害」のある子も“みんないっしょに” ２ はじめての点字		偕成社	2000	378/ /2	あなたは、「点字」を知っていますか？点字は、目の見えない人の文字です。点字は、いつ・どこで・だれがつくりだしたものでしょうか？あなたは、点字が読めるようになったらいいなと思いませんか。
12	パソコンで仕上げる点字の本＆図形点訳　これなら教科書だって点訳できる	長尾　博／著　畑中滋美／作図	読書工房	2005	378.1	パソコンで点字の本を作る際、とっても悩ましいレイアウトや図形点訳のノウハウを満載した、パソコン点訳入門書の決定版。需要が高まっている点字教科書の製作事例も豊富に紹介。視覚障害教育の関係者におすすめ。
13	点字・点訳基本入門 新装版	当山啓／著	産学社	2008	378.1	点字の「読み書き」入門書の決定版。すぐに役立つ用例を豊富に掲載し、わかりやすく解説。点字・点訳の現場に携わる著者ならではの「分かち書き」理解のコツが満載。初心者から点訳ボランティアまで必携の書。
14	点字どうぶつえん	菊地　清／絵	同友館	2000	378	（見開きより） この本に出てくる動物たちには、小さな点がいくつも隠されています。それらが実は、動物の名前を表わす文字になっているのです。目の不自由な 人たちが使う点字というものを、こんなかたちで絵の中に取り込んで
15	子どものための点字事典	黒崎惠津子／著　福田行宏／イラスト	汐文社	2009	378	目の不自由な人が使う、さわって読む文字「点字」。色々なところで使われている点字を探してみよう。点字の精テンジーくんを案内役に、点字の世界に分け入り、点字の成り立ちや書き方などを知ることができる1冊。

＊手話のキホン＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
16	あなただからできる自然災害ボランティアABC	日本ネイチャーゲーム協会／編	ネイチャーゲーム研究所	2006	369.3	自然災害時に子どもや高齢者の遊び相手、話し相手としてのボランティア活動には、どのようなものがあるのか、またふだんからどのようなことを心がければよいのかなどを、実体験に基づきわかりやすく解説する。
17	ゲームで手話	こどもくらぶ／編・著	岩崎書店	1998	378	（「はじめに」より） 楽しく遊んでいるうちに手話をおぼえてしまおうというのがこの本です。
18	手話でラブソングを	こどもくらぶ／編・著	同友館	1998	378	（目次より） 1 益子さんといっしょに 松田聖子さんの「あなたに逢いたくて」を歌おう 2 手話スピーチ
19	これだけ手話　これだけはおぼえておきたいな	田中　ひろし／企画・著	同友館	1996	378	（見開きより） この本は、こどもにかたりかけるように、とてもわかりやすく書かれています。もちろんおとなの人にも手話の入門書として最適な本です。どうぞ『これだけ手話』を、手話のおべんきょうのきっかけにしてください。
20	はじめての手話　初歩からやさしく学べる手話の本	木村　晴美／著　市田　泰弘／著	日本文芸社	1995	378.2	（目次より） 1 手話について知ろう 2 手話を実際に学んでみよう

＊要約筆記に挑戦！＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
21	字が話す目が聞く　日本語と要約筆記　新版	上村博一／著	新樹社	2009	378.28	（目次より） 1　コミュニケーション（コミュニケーションの変遷、聴覚障害者の現状、要約筆記のあらまし） 2　楽しく字が話す（日本語の特質—5つの変化と5種類の文字、日本語の機能—不思議な語順、日本語の用法—わかる・ちぢめる・書く話す）
22	あなたの声が聴きたい　難聴・中途失聴・要約筆記	藤田保/編西原泰子/編江藤久/［ほか著］	文理閣	2003	369.27	人生の途上で難聴になった人には、筆談や要約筆記、ノートテイクなどが必要になる。本書は、難聴者や中途失聴者の体験談と、要約筆記ボランティアの人々の活動から、サポートの課題を提起する。
23	知っていますか？聴覚障害者とともに一問一答	稲葉通太/監修　デフサポートおおさか/編著	解放出版社	2007	369	聴覚障害者とともに生きるには、社会や個人にどのようなことが望まれるか。就労、教育、福祉サービス、生活、遊び、手話、暮らしに便利な機器など様々な視点から、聴覚障害者との豊かな関係づくりを探る書。
24	会議・プレゼンテーションのバリアフリー　“だれでも参加”を目指す実践マニュアル	電子情報通信学会情報保障ワーキンググループ／編	電子情報通信学会	2010	369.27	障害のある人が学会や研究会に参加する場合、点字や手話などその人たちが使える方法で多くの情報を提供する情報保障が必要となる。色々な場で情報保障を進められるようにするためのガイドラインを編纂した書。

25	ろう者のトリセツ聴者のトリセツ ろう者と聴者の言葉のズレ	関西手話カレッジ／編・著 矢野一規／編 寺口史和／編 中上まりん／編 柴田佳子／編	星湖舎	2009	378.2	ろう者の手話の意味がわからない、聴者の日本語の意味がわからない…。それはお互いの言葉のズレが原因。ろう者と聴者の間に起こるコミュニケーションのズレを例にあげて解説し、誤解を解消するための“トリセツ”。

＊幸せに続く 看護への道＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
26	よくわかる 新人ナースの仕事のしくみ 誰もがぶつかる仕事の悩みにお答え	田川克巳／著	ぱる出版	2008	492.9	テキパキ仕事術から、ナースの勉強法、キャリアアップのしかたなど、知っておきたい仕事の基本を解説。新人がよくぶつかる問題を経験豊富な先輩ナースの助言も交え、一つひとつ解決する。
27	やさしい看護理論 現場で活かせるベースの考え方 改訂2版	城ケ端 初子／著	メディカ出版	2005	492.9	（「はじめに」より） 本書では、難しいとされている看護理論をやさしく理解するために、事例を盛りこみ、各節のおわりに「まとめ」を設け現場で使えるように試みました。
28	病院の言葉を分かりやすく工夫の提案	国立国語研究所「病院の言葉」委員会／編著	勁草書房	2009	490.1	病院の言葉はなぜわかりにくいのか。質問調査から「伝わらない言葉」を収集・分析し、「伝わる言葉」への言い換え方を提示する初の手引書。患者とのコミュニケーションに役立つコラムも収録。
29	トリセツ・カラダ カラダ地図を描こう	海堂尊／著	宝島社	2009	491.1	「チーム・バチスタの栄光」のベストセラー作家が、現役医師の立場から書いたカラダの取扱説明書。カラダとは何か、カラダの区分けといった総論から、臓器分解、臓器収納、医学概論までカラダの謎を解き明かす1冊。
30	言葉で治療する	鎌田實／著	朝日新聞出版	2009	490.4	医療者の言葉しだいで、治療の日々が天国にも地獄にもなる。衝撃の現場を紹介しながら、著者が心と体が立ち直っていく言葉を具体的に提案。医師・看護師、患者・家族がお互いに救われる新コミュニケーション術。

＊今ドキ！！の介護＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
31	介護予防のための栄養指導・栄養支援ハンドブック	馬場園明／編著 荒木登茂子／著 桑原一彰／著 花田輝代／著 山田康子／著	化学同人	2009	498.5	どうすれば病気や障害が予防できるだろうか。QOLを改善できるだろうか。介護予防の重要性が高まっている中、高齢者の栄養指導や栄養支援に携わる栄養士・管理栄養士にとって、実際の現場で役立つ本。
32	図解看護に役立つ栄養の基本がわかる事典 知りたいことがすぐ引ける！	尾岸 恵三子／監修	成美堂出版	2007	492.9	看護師、介護従事者のための栄養学。患者を支える「食」看護のポイント、栄養素がわかる基礎データ、消化・吸収・代謝・排泄のしくみ、疾病の特徴と食事療法などについて、オールカラーでわかりやすく解説。

33	口腔ケア・摂食・嚥下障害入門　口腔機能向上と介護予防	山川　治／著	産労総合研究所出版部経営書院	2006	497.9	(「筆者の横顔」より) 山川治氏は歯科医師で、病院、老人保健施設、身体障害者施設に積極的にかかわって、口腔ケアや摂食・嚥下障害についての連携をとっている。
34	食事ケアことはじめ　高齢者への食事介助入門	藤本　真美子／編 明石恵泉福祉会／著	東京　中央法規出版	2006	498.5	確かな知識と技術があって初めて、高齢者その人を中心とした食事が提供できる。食事ケアに関わる多くの事柄を「食事介助」「口腔ケア」「栄養ケア」という3つの柱を中心に解説した、役立つ、すぐわかる入門書。
35	歯ブラシ事典　使い方から介護用品までなんでもわかる	松田　裕子／編集 近藤　いさを／編集 波多江　道子／編集　麻賀　多美代／〔ほか〕執筆　第3版	東京　学建書院	2002	497.9	歯ブラシ」にスポットを当て、できるだけ多くの種類を網羅するとともに、その構造・選び方・使い方から、その歴史・製造工程、さらに歯間ブラシや歯垢染め出し剤等、歯ブラシに関するテーマを集大成。97年刊に次ぐ第3版。

＊セラピードッグ＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
36	セラピードッグの世界　動物介在療法	大木トオル／著	日本経済新聞出版社	2009	493.7	医療・介護現場で驚異的な効果を発揮するアニマル・セラピー。本書はこのセラピードッグを日本に導入した第一人者が、動物介在療法の理論と実践を初めて解説する。愛犬家垂涎のセラピードッグ育成法がわかる初の本。
37	犬と家族の心理学　ドッグ・セラピー入門	若島　孔文／編著	北樹出版	2007	146.8	ドッグ・セラピーの効果に関する研究を紹介しつつ、家族システムにおける犬の役割、犬と人との出会いからセラピー・ドッグの選び方まで、具体的に解説。ペットロスに効果的な要因についても触れる。
38	名犬チロリ　セラピードッグが「奇跡」を起こす	大木　トオル／著	マガジンハウス	2004	645.6	人間の虐待で足に障害を負った雑種の捨て犬、チロリ。処分される寸前で著者に救われ、病人を助けるセラピードッグとして訓練を受け始めると抜群の才能を発揮することになり…。ルビ付きで10歳から1人で読める感動の実話。
39	老後を動物と生きる	M. ゲング／〔著〕 D. C. ターナー／〔著〕小竹　澄栄／訳	みすず書房	2006	369.26	老人福祉施設における動物飼養がもたらす素晴らしい効果と同時に、問題点も指摘し、多くの実例に基づいて、多様な立場から細心の注意を払って検討する。人と「コンパニオン・アニマル」の絆を築くための入門書。
40	犬に本を読んであげたことある？	今西　乃子／文　浜田　一男／写真	講談社	2006	910	読書嫌いでおちこぼれの子どもたちを救った、世界初の読書介助犬・オリビアの物語。子どもが犬に本を読んで聞かせることで自身を見出だすというユニークな試み、R. E. A. D. プログラムの一端を紹介。

＊おもちゃ図書館＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
41	よっToyでおもちゃ図書館	おもちゃの図書館全国連絡会／編	ぶどう社	1992	369.4/Y	(「はじめに」より) 全国400ケ所にあるおもちゃ図書館はみな、それぞれ独自の形と内容をもって活動しています。その地域に合ったものをつくりだしています。この本にはそれらの、さまざまな活動が載っています。

42	愛のおもちゃ図書館　地域で生きることを支える	小林　るつ子／著	教育出版	1994	369.27/K	（まえがきより） 地域の人々と障害児の両親が同じボランティアとしておもちゃ図書館をつくり、運営しており、遊びに来る子どもたちも障害児と健常児が一緒です。おもちゃと遊びを通じて心がときはなたれ、自然に壁が取り除かれ、新しい出合いが始まるという素晴らしい体験を重ねていることが推進のエネルギー源になっているのです。
43	愛のおもちゃ図書館（トイ・ライブラリー）　障害児とお母さんのこころのふれあい	小林　るつ子／著	くもん出版	1984	378/K	（見開きより） 障害を持った子どもをかかえながら、自分の子どものためだけでなく、地域の子どもたちのためにおもちゃのある楽しい遊び場をつくりたいと考えた情熱。それがおもちゃ図書館の原点でした。
44	障害児における家族・地域システム構築に関する調査研究　おもちゃ図書館活動の福祉機能を最大限に活かすには	峯島　紀子／著	こども未来財団	2009.3	369.4	児童関連サービス調査研究等事業報告書
45	0～5歳児の年齢別発達をうながすおもちゃ	芸術教育研究所・おもちゃ美術館／編	黎明書房	2002	750	0～5歳までを軸に、様々な手づくりおもちゃを作り、それらが人間関係の中でどのように役立つかを中心にまとめた書。さらに、既製のおもちゃとの関係、また障害のある子のためのおもちゃの役割なども紹介する。

＊未来の環境を考える＊

	書　名	著　者	出版社	出版年	請求記号	内容（日販MARCより）
46	12歳からの現代思想	岡本裕一朗／著	筑摩書房	2009	S/104	「現代思想」にはこの社会や未来を考えるためのヒントがある。環境、心、コミュニケーションなど8つの大切なテーマを1つ1つやさしく解きほぐしながら、新たなものの見方や発想へのきっかけを提供する入門書。
47	地球環境図鑑　わたしたちの星の過去・現在・未来	デヴィッド・デ・ロスチャイルド／総監修 枝廣淳子／監訳	ポプラ社	2009	519	私たちにどんなことができるのか。子どもから大人まで、一緒に学んで考えよう。美しい写真とわかりやすい解説で、環境問題を地球の生命全体の問題として学び、考えることができる、グローバルな視点の環境図鑑。
48	気候科学の冒険者　温暖化を測るひとびと	中島映至／監修	技術評論社	2010	451.3	気候科学の第一線で活躍する「カラフル」な研究者たちが、サイエンスカフェという場でフランクに語りあった、科学・研究・人生をめぐる冒険譚。気候変動を見つめる研究者の考え方がわかる1冊。
49	不都合な真実　ECO入門編	アル・ゴア／著　枝広　淳子／訳	ランダムハウス講談社	2007	451.8	もっと温暖化を知ってほしいと、より軽く読みやすくしたECO入門編。ゴアが30年以上取り組む環境問題に関する研究成果を収録。地球温暖化の危機を示す資料や写真も掲載し、人類が取るべき方法を示す。
50	地球（ほし）の授業	ユベール・リーヴズ／著　高橋啓／訳	飛鳥新社	2009	519	フランスでもっとも読まれている、地球と人類の未来を考えるための本。世界的宇宙物理学者ユベールがやさしく語る「空」と「命」をめぐる51のおはなし。家庭や学校で環境問題について考える時の手助けに最適。